

市関連性計画まとめ

関連	計画名	策定年	担当課	基本目標	主要な施策のうち住宅施策に係る取組	当該文章等
都市計画	藤沢市都市マスタープラン	1999年(平成11年)2月 (最終2026年(令和8年)3月31日改定予定)	都市計画課	都市ビジョン『自立するネットワーク都市』 【6つの方針】 ①住みよさを育む都市づくり ②活力を創造する都市づくり ③地球環境に貢献する都市づくり ④強さとしなやかさを備えた都市づくり ⑤美しさに満ちた都市づくり ⑥連携と挑戦の都市づくり	【方針1】 住みよさを育む都市づくり (1) 様々な暮らしの圏域で行うきめ細かなまちづくり (2) 日々の暮らしを支えるまちづくり (3) 地域の交流や活動を支える身近な拠点を創出するまちづくり (4) 多様性を尊重した安全・安心なまちづくり (5) 地域の特性にあった住みよさのあるまちづくり 【方針4】強さとしなやかさを備えた都市づくり (1) 主体間連携による防災・減災まちづくり (2) 復興の事前準備を推進するまちづくり (3) 都市機能が持続的に発揮できるまちづくり	【方針1】 日常の暮らしを支えるとともに、身近な交流や娯楽、運動などを楽しむことができる機能を充実し、健やかで心豊かに暮らすことができる都市 ・地域の多様な交流や生活サポートの充実に向けた取組の推進 ・多様性を包摂して誰もが心地よく暮らすことのできる環境の形成 ・地域との協働による安全・安心な暮らしを支える体制、機能の強化 ・地域の特性にあわせた豊かな住環境の創出 ・市街化を抑制している地域における暮らしのあり方の検討 【方針4】 災害への備えや復興への事前準備、都市基盤の維持・更新や地域の防災力を兼ね備えた強靱な都市づくりの推進 ・建物などの不燃化・耐震化の向上につながる取組の推進
防災	藤沢市国土強靱化地域計画	2022年(令和4年)3月 (最終2025年(令和7年)3月改定)	防災政策課	①人命被害を限りなく減らし、風水害からの逃げ遅れをゼロにすること ②市域の重要な機能が致命的な障害を受けず維持されること ③市民の財産及び公共施設に係る被害の最小化 ④迅速な復旧復興	柱2 住宅等の耐震化 柱10 迅速な復旧・復興	07 建築物等防災対策事業 08 市営住宅環境整備事業 79 応急仮設住宅の設置計画の推進
防災	藤沢市地域防災計画	2013年(平成25年)7月23日 (最終2025年(令和7年)1月30日改定)	防災政策課	①人命の保護が最大限図られること ②国家及び社会の重要な機能が致命的な障害を受けず維持されること ③国民の財産及び公共施設に係る被害の最小化 ④迅速な復旧復興		応急仮設住宅 住宅の応急修理・障害物の除去 被災者の受託入居相談 住宅・建築物の耐震化 建物密集地の延焼の防ぎよ 公営住宅災害復旧事業 高齢者施設
福祉	藤沢市地域福祉計画2026	2004年(平成16年)3月 (最終2021年(令和3年)3月改定)	福祉総務課	①地域に関心を持ち、行動できる地域づくり ②お互いが見守り、支えあい、つながる地域づくり ③誰もが安心して暮らせる仕組みづくり	基本目標②－(1)－① 顔の見える関係づくりの推進 基本目標②－(1)－② 誰もが気軽に集える場づくりに向けた支援	地域の近所づきあいや助けあいが希薄化する中、外出時のあいさつ、簡単な言葉の取り交わしなど、日々の暮らしの中でお互いを知る機会をつくることが重要。 集い、交流することにより、見えなかった困りごとが表出することや、様々な暮らしに関する不安の解消、情報交換の場としての効果への期待。
高齢者 介護保険	いきいき長寿プランふじさわ2026 (藤沢市高齢者保健福祉計画) (第9期藤沢市介護保険事業計画) (藤沢市認知症施策推進計画)	2010年(平成22年)3月 (最終2024年(令和6年)3月改定)	高齢者支援課 介護保険課	①自分らしく過ごせる生きがいづくりの推進 ②誰ひとり取り残さない地域づくりの推進 ③健康づくりと介護予防、自立支援・重度化防止に向けた支援 ④認知症施策の総合的な推進 1.知る2.集う3.支える4.備える ⑤医療・介護及び福祉連携による生活支援の充実 ⑥介護保険サービスの適切な提供 ⑦地域に根差した相談支援の充実 ⑧安心して住み続けられる環境の整備	基本目標② 誰ひとり取り残さない地域づくりの推進 基本目標⑧ 安心して住み続けられる環境の整備	近年における社会の変化により、今後、一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯が増えていく見込みであることや地域におけるコミュニティが希薄化する中、孤立してしまう状態や振り込め詐欺などの犯罪に巻き込まれてしまうことを防ぐために、日頃からの声かけや啓発活動など地域内におけるつながりの強化のため、地域福祉を支える関係機関、や団体との連携による支援体制を推進。 高齢者が安心して住み続けられる生活環境を築くためには、身体の状態や日常生活におけるニーズなどの状況に応じた、住みやすい生活環境であることが重要。
医療 健康	元気ふじさわ健康プラン 藤沢市健康増進計画	2010年(平成22年)3月 (最終2025年(令和7年)3月改定)	健康づくり課	一人ひとりの行動と健康状態の改善に加え、個人を取り巻く社会環境やその質の向上を通じて、日常生活に制限のある期間(不健康な期間)を短縮することができるよう、平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加(延伸)をめざします。		自分らしく楽しくいきいきと毎日過ごすとともに、地域の様々な活動に参加し、人とのふれあい・交流の中から健やかで充実した暮らしを見つけることに期待。
子育て	藤沢市子ども・若者共育計画 【第2期藤沢市子ども・子育て支援事業計画】	2025年度(令和7年度)～2029年度(令和11年度)までの5年間 【2015年(平成27年)4月 (最終2025年(令和7年)3月改定)】	子ども総務課	①子ども・若者のライフステージを通した施策の推進 ②だれひとり取り残さない子ども・若者支援の推進 ③子どもの誕生前から幼児期までの支援の充実 ④学童期・思春期の支援の充実 ⑤青年期の支援の充実 ⑥子育て当事者への支援の充実 ⑦子ども・若者の意見表明・意見反映 ⑧地域全体で共に支える基盤をつくる	基本目標② だれひとり取り残さない子ども・若者支援の推進 柱3 子どもを支え暮らしを支える支援の充実 番号92 市営住宅の 環境整備 番号93 住宅確保要配慮者への支援	住宅に困窮するひとり親世帯や子育て期にある多子世帯などに対して、市営住宅入居募集時に入居しやすい環境を作るとともに、健康で安全な暮らしやすい環境を整備。 住宅確保要配慮者への支援を図るため居住支援協議会を設置し、住宅確保のための支援及び入居後における居住の継続が可能となるような具体的支援を実施。
環境	藤沢市環境基本計画	2022年度(令和4年度)～2030年度(令和12年度)までの9年間 【1998年(平成10年) (最終2022年(令和4年)3月改定)】	環境総務課	【環境像】 ①快適な環境が将来にわたって適切に保全されるまち ②地域資源を活用し自然とふれあえるまち ③資源を持続可能な形で循環し利用していくまち ④次の世代の中心となって活躍する人が育つまち ⑤環境にやさしく地球環境の変化に適応したまち	環境像⑤ 環境にやさしく地球環境の変化に適応したまち 環境目標5-1 省エネルギー対策の推進 脱炭素型のライフスタイルや省エネ設備の導入により、省エネルギー対策が進んでいること 環境目標5-5 気候変動への適応 地球温暖化に伴う影響を評価・低減し、気候変動に適応していること	【省エネ設備等の導入促進】 ・住居などへの省エネ設備の積極的な導入及び活用の促進。 ・住宅の ZEH化の促進。 【気候変動への適応策】 ・緑のカーテン、打ち水、住宅の断熱化など、住まいを涼しくする工夫。
環境	藤沢市地球温暖化対策実行計画	2022年度(令和4年度)～2030年度(令和12年度)までの9年間 【2010年(平成22年) (最終2022年(令和4年)3月改定)】	ゼロカーボン推進課	【基本方針】 ①省エネルギー対策の推進 ②エネルギーの地産地消 ③環境にやさしい都市システムの構築 ④循環型社会の形成	基本方針① 省エネルギー対策の推進 基本方針② エネルギーの地産地消	住宅の省エネルギー化(新築・改修)の促進。 二重窓などによる住宅の断熱化の促進。 建築物に係る省エネ関係法令に基づき、住宅や事務所等における省エネ性能の向上等について、普及啓発を実施。 オフィスのビルでの ZEB化や住宅の ZEH化について、情報提供による普及を促進。 緑のカーテンなどの緑化や住宅の断熱化などを行い、室内環境の改善。